幸福な田舎のつくりかた。地域の誇りが人をつなぎ

域はたくさんあります」
「日本の地方は疲弊している、若者がいない、農業が振るわないと言われますが、そんなことはあり言われますが、そんなことはあり言いて創造的な活動をしている地

の農漁村を取材している。町おこリスト。日本中を巡って、千以上金丸弘美さんは食環境ジャーナ

映画の都にして成功しています」

山口県萩市の「道の駅 萩しー

も鶴岡市の出身です。町を食の都、

ちと活発な交流をして、その土地 独自の環境資源を発信できるとこ 仕組みをつくり、地域内外の人た ものが必ずあるのです」 も観光でも、その土地ならではの ろは元気です。特産品でも食材で しアドバイザーの第一人者だ。 「小さくても地域でまわる経済の 本書では高知県四万十町、島根 がうまく融合しています。その土 県雲南市など9カ所を紹介する。 した『よみがえりのレシピ』の監督 家などをドキュメンタリー映画に ッチャーノ』、伝統野菜を守る農 新しい料理を提供する『アル・ケ 地特有の野菜を調査している山形 大学の准教授、地域野菜を使って 「山形県鶴岡市は文化と食と農業

味がする』と言ったりします。表 金丸さんの食味がする』と言ったりします。表 金丸さんの食

という組織を作って宣伝している。

の魚介類を「雑魚プロジェクト」
地元の名前が付かない200以上
地元の名前が付かない200以上

スト化が大事。食材ならどこで作

現力や語彙が増える。国語教育に

「特産品をアピールするにはテキ

金丸弘美さんかなまることの



が出て、地域発展の推進力になるのです」持つ人たちと合宿をします。良いアイデア専っプ』など著書多数。「現場のノウハウを集まる5つの法則」「創造的な食育ワークシ集まる5つの法則」「創造的な食育ワークシーで、イイザー。地域の発展に省地域力創造アドバイザー。地域の発展に対している。「田舎力・ヒト・夢・カネが



町おこしのコツは地域の独自性を知ることから始まる。